

おもいやり

2020年12月 Vol.5

足利市人権推進広報紙 第5号
発行 令和2年 12月 1日
足利市総務部人権・男女共同参画課
電話：0284-70-8600
ファックス：0284-73-8066
E-mail：jinken@city.ashikaga.lg.jp

ホームページで人権動画が視聴可能に ネット環境があれば、いつでも視聴が出来ます♪

栃木県では、毎年8月を「人権教育・啓発推進県民運動強調月間」とし、足利市も強調月間に伴う啓発活動の一環として人権問題講演会を、毎年実施しています。

しかし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎年7・8月中に開催していた、この人権問題講演会については、中止となりました。

そこで、今年度は中止された人権問題講演会の代わりとして、ご自宅で人権に関わる動画等をご覧いただくことが可能なホームページを作成しました。掲載している項目は、同和問題のほか、女性の人権、子どもの人権、外国人の人権など、様々な人権課題の動画にリンクされています。下にQRコードを掲載いたしますので、ご活用ください。

新型コロナウイルス
感染症拡大防止に配慮

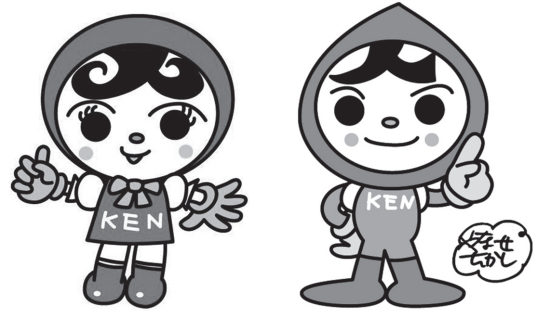
12月10日は 人権デー です!

日本では12月4日～12月10日を「人権週間」に定めています。

足利市公式ホームページから、インターネットにて人権に関する動画等をご覧ください。

URL : <https://www.city.ashikaga.tochigi.jp/page/stop-sabetsu-movie.html>

[足利市公式HP] → [各課ページ]
→ [人権・男女共同参画課]
に掲載しています。スマートフォン等からの場合は、右のQRコードを読み込んで、動画掲載ページへどうぞ。



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん 人KENまもる君

様々な人権課題 ⑤ インターネット上での差別

インターネットは便利で使い勝手の良い現代のツールとして、多くの方が利用しています。しかし、その使用についてはSNSなどへの投稿が容易であることや書き込みが匿名で出来るため、一度書き込むと急速にその書き込みが拡散され、差別的な掲載が次々にコピーされ転載されてしまうことになりかねません。現在、新型コロナウイルス感染症に関する差別的掲載も増えています。

パソコン等での投稿が「ネットいじめ」や「医療従事者などへの誹謗中傷」等の様々な差別や偏見にならないように、モラル・マナー（ネチケツ）や個人情報保護などに注意してインターネットを活用しましょう。

『新型コロナとの闘いを乗り越えるオールとちぎ宣言』

新型コロナは、誰もが感染しうる病気です。私たちが闘っているのは、ウイルスであり、人ではありません。

感染された方やその家族等への偏見や差別、誹謗中傷等は、対象となる人の心身を深く傷つけ、平穏な生活を脅かすばかりでなく、差別を恐れて受診をためらうなどの行動に繋がり、更なる感染の拡大という負の連鎖を招きかねません。

県と市町は、県民の皆さまと一緒に、大切な人や暮らしを守るため、“おもいやり”と“やさしさ”を持って、新型コロナとの闘いを乗り越えていくことをここに宣言します。

- ◆ 感染された方やその家族などに対する差別、誹謗中傷等は、決して許しません!
- ◆ 医療従事者をはじめ、わたしたちの健康や暮らしを支えるために奮闘されている方々に心から感謝し、エールをおくります!
- ◆ 県外から来られる方々を非難せず、お互いに尊重し合います!
- ◆ 県民の皆さまとともに、互いの立場をおもいやる心とやさしさを忘れず、新型コロナとの闘いを乗り越えていきます!

令和2(2020)年8月21日

栃木県				
宇都宮市	足利市	栃木市	佐野市	鹿沼市
日光市	小山市	真岡市	大田原市	矢板市
那須塩原市	さくら市	那須烏山市	下野市	上三川町
益子町	茂木町	市貝町	芳賀町	壬生町
野木町	塩谷町	高根沢町	那須町	那珂川町



足利市長メッセージ

足利市HP内や公式YouTubeにて動画などを公開しています。



県知事メッセージ

栃木県HP内などでメッセージ等を公開しています。



STOP! コロナ差別!!

(公財)人権教育啓発推進センターへのQRコード



*実は、こんなコトが差別につながります!

- 誰が感染したかを公式報道以外に検索したりして調べる。
- 誰が感染したのかSNSに書き込む。
- 憶測や推測で感染に至るまでの経緯などをウワサする。

*なぜ、デマ(誹謗中傷・不当な個人情報の開示)が問題なのか?

- デマの拡散は、感染症に対する人々の不安を募り、感染拡大防止の妨げになります。
- また、如何なる理由があろうと、誹謗中傷や不当な個人情報の開示は犯罪です。
- 社会に混乱を発生させ、他人を欺く行為です。

ちょっとしたあなたの行動が「差別」につながります

不安!

想像の話!

ずっと●●小学校のA君が、学校休んでるの。
お母さんからウイルスもらったのかも!
A君のお母さんが働いている職場も
工場が閉まっていて、仕事休んでいるって!
A君●●病院に公共交通機関で往復していて
交通機関もウイルスで汚染されちゃうね。

誹謗中傷!

今日、●●町の居酒屋さんの前を通ったら、
入り口のドアとか昼間から洗っているね、
●●町って、おおきな病院があるじゃない!
きっと、その医療従事者が、来てるから、
ウイルスで危ないから消毒しているのよ?
医療従事者の子どもさんも、可哀想よね。
保育所でも、他の子にうつすからイヤよねえ~?

噂話

さっき、国道沿いのコンビニに
首都圏のナンバーの車が停まっていたね、
近所の●●さんの所の大学生が乗っていたの。
なんで、●●大学の寮から帰っているの?
あの大学ってテレビで言ってたところよ?
大学の寮でクラスター発生って放送してたのよ。
ウイルス持ち帰って来るなんて、おバカよね?

デマです!

教えてあげなくちゃ!

STOP! コロナ差別

公民館講座にて配布したコロナ差別に関するチラシ

実は、
誹謗中傷や
個人情報の開示は
犯罪です。
社会に混乱を発生させ、他人を欺く行為です。

様々な人権に関するメッセージ

新型コロナウイルス感染症に関連した差別的な書き込みや誹謗中傷が発生していることについては、表紙の「様々な人権課題」でも記載をさせていただきました。このような状況に対して、足利市を含めた国や県などの自治体では、正確な情報により冷静な判断を取っていただきたい旨の広報啓発を行っています。

また、日本赤十字社のように、「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」といった紙面を作成している企業などもあります。参考に、足利市長と栃木県知事からのメッセージ動画にリンクするQRコードを右に掲載いたしますので、ご覧ください。

人権啓発活動紹介⑤ 足利市人権教育・啓発推進行動計画 [第4期計画]

足利市では、市民一人ひとりが基本的人権を尊重し、お互いの存在や違いを認め合い、支えあい、そしてともに生きることが出来る社会の形成を目指して、これまで人権問題を解決するための諸施策を推進してきました。「足利市人権尊重の社会づくり条例」及び「足利市人権教育・啓発推進行動計画」を平成15年度に策定し、現在は平成28年3月に策定した第4期計画(10年間)にて各施策を実施・推進しているところです。

この行動計画では、「同和問題」や「女性・子ども・高齢者・障がい者・外国人」といった各人権問題などのほか、昨年、熊本地裁にて判決の出た「ハンセン病に関連する人権問題(患者・元患者、その家族に対しての差別や偏見について)」などについても解決するよう、課題ごとの施策に関する基本的事項を掲げています。

毎年、各施策の計画の進捗状況については、関係各課から報告があり、条例で定められた「足利市人権推進審議会」で審議されます。各施策の報告については、まとまり次第、市ホームページに掲載され市民の皆さんにも確認していただけるようになっています。



「人権の花」運動 写真 【足利市立けやき小学校】

- 児童に花をお渡しする人権擁護委員。

「人権の花」運動は、日本全国で実施されています。花を育てることでより人権尊重の意識を育むことを目的として、足利市でも毎年市内の4小学校に花をお渡ししています。

ひとひとのフォーラム足利2020

令和2年12月5日開催予定
足利市民プラザ 小ホール ほか



第1部では、人権に関する書道・ポスター・作文コンクールや男女共同参画キャッチフレーズの入賞者の表彰式、第2部では、映画「パパはわるものチャンピオン」の上映会を行います。

今年度は、新型コロナウイルス感染症への対策として、事前申込制で、先着順での申込みとなっていますので、参加をご希望の方は、市ホームページや広報紙「あしかがみ11月号」をご確認ください。

入賞作品展示ギャラリーは、事前の申込みは不要ですので、皆さんのお越しをお待ちしています。

ご注意

新型コロナウイルス感染症に関連して、このイベントは中止・変更の可能性があります。国・県や足利市の方針で、開催直前の変更なども考えられますので、当日の実施の可否については、足利市ホームページを必ずご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

題字の「おもいやり」とは

「足利市には日本遺産・足利学校があります。そして学校には論語があり、今、小学生たちも論語の素読をしています。その論語の中に「恕」*の言葉があります。足利市民は互いに認め合い、思いやり、住み良い、明るい街にしていきたい」との思いから名づけられました。

*「恕」…「思いやり」のこと。

「子貢問いて曰わく、一言にして以て終身之れを行うべき者有りや、と。子曰わく、其れ恕か。己の欲せざると所、人に施すこと勿かれ、と。」

(書さ下し文：足利市教育委員会編集・発行「論語抄」から)